



平成 29 年 5 月 1 日

各 位

会 社 名 明治機械株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 中尾 俊哉
(コード番号 6334 東証第二部)
問 い 合 せ 先 総務部長 高工 弘
(TEL. 03-5295-3511)

新製品「太陽光発電所ディベロップ事業」の事業化に関するお知らせ

当社は、太陽光発電所ディベロップ事業を新商品として事業化を行うことについて決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業化の経緯及び新製品の概要

①事業化の経緯

当社は、日本経済において未曾有の低金利時代が続く中、老後資金対策、相続対策として、高利回りの投資商品が求められており、これらのニーズに応えるための事業を模索しておりましたが、太陽光関連事業の太陽光発電所EPC事業の一環として、当社の長年培ってきた建設業許可の設計・施工技術を活用し、より高い品質の「土地を含む太陽光発電所」を設計・施工管理、当該物件を売電による表面投資利回り 10%を上回る投資物件として、一般投資家に分譲販売する事業を開始することといたしました。

②新製品の概要

遊休の土地等を購入したうえで、その土地に区画ごとに太陽光発電所を建設し、当該「土地付き太陽光発電所」を売電による高利回りが見込める投資物件として、一般投資家に分譲販売するものであります。

2. 新製品の販売開始時期

平成 29 年 6 月より一般投資家向けに販売開始いたします。

3. 新製品の連結売上高への影響

平成 29 年 3 月期の連結売上高への影響はありません。また、平成 30 年 3 月期の連結売上高への影響は、平成 29 年 5 月 9 日に公表予定の決算短信の連結業績予想に織り込みます。

4. 今後の見通し

本件新商品の事業化の業績への影響は、平成 30 年 3 月期業績予想に織り込み公表いたしますが、平成 30 年 3 月期の太陽光発電所EPC事業全体で売上高約 40 億(ディベロップ事業 20 億・その他EPC事業 20 億)、売上総利益 10~15%を見込んでおります。

(参考 I) 当期連結業績予想 (平成 29 年 2 月 6 日公表) 及び前期実績

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
当期連結業績予想 (平成 29 年 3 月期)	6,711 百万円	345 百万円	350 百万円	
前期実績 (平成 28 年 3 月期)	6,024 百万円	126 百万円	118 百万円	136 百万円

(参考Ⅱ)

■分譲販売予定一例

分譲物件名	分譲総額	一区画分譲額	分譲開始月	予定利回り
鹿児島県霧島市国分発電所 8 区画 総発電量 573.04KW・FIT36 円	240,000,000 円	30,000,000 円	2017 年 6 月	10.90%
鹿児島県鹿屋市串良町発電所 25 区画 総発電量 1,347.50KW・FIT36 円	587,500,000 円	23,500,000 円	2017 年 7 月	10.46%
千葉県山武郡芝山発電所 39 区画 総発電量 2,232.76KW・FIT36 円	819,000,000 円	21,000,000 円	2018 年 1 月	11.24%

EPCとは「Engineering, Procurement and Construction」の略で、日本語に訳すと「設計・調達・建設」となります。

(注意事項)

本お知らせの経営戦略、事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

太陽光発電ディベロップ事業の問い合わせ先：太陽光発電事業部部長 梶原浩規
(TEL. 03-5295-3521)

以 上